

NEWSLETTER

NO. 18

17 JANUARY 1997

・ 96年地理学教室の行事記録	1
・ 卒業論文公開口頭試験について	1
・ 96年度地理巡検の記録	2
・ 卒業論文公開口頭試験日程	4
・ 国土館地理学会費の納入について	5

【96年地理学教室の行事記録】

- 2月13日～15日 平成6年度 卒業論文公開口頭試験
5月23日～24日 1年生野外実習（埼玉県秩父市：長島、瀬戸、野口、長谷川、内田）
6月1日 国土館地理学会（於 世田谷キャンパス 10号館 10329教室）
 <講演会> 三枝 茂氏（総合研究大学院大学）「第37次南極地域観測夏隊の
 フィールドワーク とくに地理学の調査を中心に」
 <総会>
 <懇親会> 柴田会館3F
6月7日 9月卒業生公開口頭試験（10413ゼミ室）
9月2日～4日 国土館地理学会夏季巡検（沼津市：瀬戸）
10月22日～25日 3年生巡検
 （甲府市：長島、福島市：瀬戸、福島市：野口、神戸市：長谷川、大阪市：内田）
10月6日 生物地理巡検（高尾山、植生観察：水野一晴先生）
12月11日～12日 2年生巡検
 （群馬県村：長島、福島市：郡山市：瀬戸、三浦半島：野口・長谷川、小諸市：内田）
12月14日 国土館地理学会（於 世田谷キャンパス 10号館 10329教室）
 <講演会> 八久保厚志先生「工業地理学と地域産業政策」
 <ゼミ発表> 佐々木徹、塩沢隆幸、後藤和美、稲見悟志、金井宏
 <懇親会> 柴田会館3F

【卒業論文公開口頭試験について】

地理学教室では、卒業論文の審査が公平になされるよう各々の論文を2名の教員が閲読し、さらに公開口頭試験の結果を加味して可否を決めています。今年度も2月10,12,13日に卒業論文の口頭試験が行われ、試験の結果から卒論の評点が決まります。公開試験なので1～3年生も出席し、今後の参考にしたほうがよいでしょう。なお、3年生は全員出席が義務づけられています。

試験は、持ち時間10分程度の口頭発表とそれに続く質疑応答です。発表者はあらかじめ卒論の要旨、図表などをまとめたレジュメを用意し、出席者全員に配布できるよう準備してください。レジュメには当然のことですが、表題・日付け・発表者名・図表番号などを明記してください。また、質疑応答の際に必要な卒業論文のコピーは必ず持参してください。日程その他については次ページに発表しています。

就職が決まり、試験当日に社内研修などが予定されている4年生は、就職予定先に事情を説明し、研修欠席の手続きを済ませておくようにしてください。

重要事項！必ず読むこと！

研究室、図書館から借りだしている書籍・備品は口頭試験の前（2月初旬）までに必ず返却して下さい。未返却者は、口頭試験が受けられません。

1年生地理実習：5月23日（木）、24日（金）実施

◎長島・瀬戸・野口・長谷川・内田

実施地：埼玉県入間市、飯能市、横瀬町、秩父市

参加学生数：81名（男子59名、女子22名、うち2名2年生）

テーマ：関東平野西縁部農村地域の土地利用形態に関する基礎的な観察

秩父市街地の土地利用調査

内容：第1日 行政的ゾーニング（市街化地域、市街化調整地域、無指定地域、農業振興地域）が行われている土地での土地利用形態の違いを観察する（野口）

第2日 秩父市市街地において、1万分1建物用途別現況図作成の調査と都市的土地利用の特色の把握をする（瀬戸）

課題：レポート作成手引きに従ってレポートを提出する（野口）

1万分1建物用途別現況図作成、レポート（瀬戸）

2年生巡検：12月11日（水）、12日（木）実施

◎長島（12月18、19日実施）

実施地：群馬県川場村

参加学生数：17名（うち1名3年生）

テーマ：中山間地域の村づくり

内容：第1日 中山間地域問題についての概要説明（指導教員）。2人1班で農家の聴きとり。

第2日 地域振興施設見学。民宿、果実加工センターへの聴きとり調査。まとめの会。

課題：「中山間地域の村づくり」

◎瀬戸

実施地：郡山市、猪苗代町

参加学生数：14名（男子14名）

テーマ：安積疎水と郡山盆地の農業土地利用の調査

内容：安積疎水は、明治初期に猪苗代湖の水を東北山脈の分水嶺をトンネルで郡山盆地に導き、台地の水田化を実現させ、また水路の落差を利用し発電にも利用された。戦後、国営事業として新安積疎水の用水路を伸ばし、貯水池、用水路諸施設の新設・更新を行い、水田灌漑面積の拡大、安定化をはかり、郡山市の水道用水、工業用水の利用も進めた。2万5千分1地形図を見ながら郡山市西部の台地において、幹線水路、頭首工、分水工、分水路の位置、工作物の構造、水田の畦と水路の状態、水稲栽培地に混在する荒地、空地、都市的土地利用地等の調査を行った。安積疎水土地改良区事務所では安積疎水の概要の説明を聞いたあと、磐梯西線で上戸に行き、猪苗代湖畔上戸頭首工の暖水取水方式という扇形の取水堰を見学、磐梯熱海で用水路を利用した丸守発電所、これを五百川に落とし取水する熱海頭首工、用水路と分水工の観察などを行った。

課題：レポート、用水路・取水分水施設分布図、地形・土地利用図の作成

◎野口・長谷川

実施地：神奈川県三浦市三崎町、城ヶ島

参加学生数：18名（男子9名、女子9名）

テーマ：三浦半島先端部の気候・地形の観察

植生調査法と気温観測

内容：第1日 冬の気温に与える海（海面温度）の影響について、アメダスデータと気温観測データを用いて議論する（野口担当）。

第2日 第三系以降の新しい堆積物の堆積構造、岩石海岸の地形、クリノメータなどの使い方、植生調査法の基礎を学ぶ、②移動観測による気温観測の方法を学び、土地利用・地形・風景と気温分布との関係を考える（長谷川担当）。

課題：段丘地形分類図の作成

気温分布の考察をレポートの手引きに従って書く

◎内田

実施地：長野県小諸市、東部町本海野

参加学生数：19名（男子16名、女子3名、うち1名3年生）

テーマ：社会調査の計画・実施・分析の方法

伝統的歴史景観の調査

内容：第1日 日本と信州の代表的観光地についての意識調査を街頭調査法で行い、クロス集計と χ^2 検定を行う。

第2日 海野宿の町並みを構成している家屋を、数種の指標によって分類し、分布図を描く。

- 課題：調査結果から複数のクロス表を作成し、それから読み取れることをレポートする。
海野宿の町並みを構成している家屋の分布図を描き、それから読み取れることをレポートする。

3年生巡検：10月22日（火）～25日（金）実施

◎長島

- 実施地：山梨県甲府市および周辺地域
参加学生数：16名
テーマ：各人の設定したテーマによる
内容：果樹栽培、ブドウ酒醸造、観光ふどう園、観光事業など
課題：各人の設定したテーマにより30枚（400字詰原稿用紙）

◎瀬戸

- 実施地：福島市、郡山市および周辺地域
参加学生数：14名（男子10名、女子4名）
テーマ：各自の設定したテーマ
内容：テーマは次のようなものであった。福島市中心街の階層別建物用途、空洞化、コンビニエンスストアの立地、高齢社会福祉施設の分布、飯坂温泉の現状と変化、東北新幹線開通後の福島市の変化、福島盆地の桃の栽培、郡山市の工業、郡山盆地の河川の治水と親水事業、磐越西線各駅前の土地利用の比較、二本松市の城下町の名残り、磐梯朝日国立公園のリゾート開発、環境保全問題
課題：レポート、土地利用図ほか主題図の作成

◎野口

- 実施地：福島県いわき市小名浜
参加学生数：16名（男子15名、女子1名）
テーマ：東北太平洋岸の海面水温変動、漁獲量変動、気温変動
内容：①海面水温変動、漁獲量変動、気温変動に関する情報収集と解析、②都市気温と都市関連要素（人口・建物密度・非透水面比率・植被など）との関連
課題：各自最も興味を持ったテーマについて、レポートの手引きに従って書く

◎長谷川

- 実施地：六甲山地周辺
参加学生数：16名
テーマ：六甲山地周辺の活断層、段丘地形の調査、水文地形
内容：同上のテーマでグループ別に調査
課題：同上のテーマで各自レポートを書く

◎内田

- 実施地：大阪市周辺
参加学生数：9名（男子7名、女子2名）
テーマ：自由
内容：各人の興味に基づいてテーマを決定し、現地で脚を棒にして調査する
課題：各人が決定したテーマについて小論文を書く

国土館地理学会夏期巡検（引率：瀬戸）：9月2日（月）～4日（水）

実施地：沼津市

参加学生数：10名（男子10名）

テーマ：沼津市における土地条件と工場立地—千本松原背後の潟湖跡地を主に—

内容：沼津市西部の愛鷹山麓と千本松原の砂礫州の間にある潟湖跡地は軟弱地盤地域で、一部荒地のほかは水田として利用されてきたが、都市化により、住宅、工場、都市施設等が次第に立地してゆくの、戦後からの撮影年次の異なる空中写真を比較することによってわかった。今回、海岸平野の地形・地盤と土地利用の関係をj知るため、潟湖跡地の工場立地と軟弱地盤対策を中心に調査することにした。沼津市都市計画課、商工課、商工会議所において都市計画用途地域、工業立地、軟弱地盤地域の中に建設された市民病院や国道の地盤沈下対策、工業の概要の説明を聞く。あらかじめ商工名鑑から20ほどの工場を選び、質問票を商工課を通して送っておいたが、許可された3つの工場については順次訪問し、直接会議室で質問項目に対する回答を聞き、工場の紹介ビデオを見せてもらったり、見学をさせてもらったりした。静岡県沼津土木事務所では軟弱地盤地域を流れる中小河川の改修工事、ボーリングデータについて説明を聞き、資料をもらった。愛鷹山麓から潟湖跡の低湿地、千本松原の砂礫州、海岸までを縦断し、砂礫州背後を横断して、軟弱地盤地域の工場、市民病院、住宅の立地、盛土、道路の凹凸、土地利用の状況を観察、地盤のしっかりした愛鷹山麓の高速自動車道沿線に立地した工場との対照を見た。

【卒業論文公開口頭試験日程】

番号	氏名	卒論題目	主査	副査
2月10日(月) 9:30~12:10 《進行:長谷川》				
1	二階堂順子	福島県相馬郡飯館村における農産物を中心とした村づくり	長 島	内 田
2	宮沢 昭文	高崎市中心部における都市機能の分布と集積過程	瀬 戸	内 田
3	岡津 弘明	浜松市の中心商店街の業種構成と消費者の購買行動の変化	長 島	内 田
5	西崎 正典	東名高速横浜インターチェンジ周辺におけるヒートアイランドの実態と成因について	野 口	長谷川
8	犬山 佳	相鉄いずみ野線 弥生台駅・緑園都市駅周辺の都市構造における共通点と相違点	瀬 戸	内 田
10	本間健太郎	八王子市中心部における機能別の立地と変化について	瀬 戸	内 田
11	小林 資	東京都江東区における内部河川の利用変化	長 島	瀬 戸
12	佐藤健治郎	ランドサットTMデータの小地域内における土地被覆分類精度の検討	長谷川	野 口
13:00~15:00 《進行:野口》				
13	千野 岳	湖の資源管理 -河口湖を例に-	瀬 戸	長 島
14	永井 郷支	都市商業地区における地下街の性格 -川崎地下街アゼリアを事例として-	瀬 戸	内 田
15	青木 貴弘	高層建造物の立地・利用状況からみた都市中心部の地域差 -新潟市中心部を事例として-	瀬 戸	内 田
16	小平 順一	栃木県足利市における伝統的繊維産業の変容について	瀬 戸	長 島
18	杉山 敦	心象風景を考慮した景観形成計画に関する研究-静岡県清水市の小中学校校歌詞からの考察	長 島	内 田
19	植田 陽彦	伊豆三宅島における過去11年間の海岸変化	長谷川	野 口
15:10~17:10 《進行:野口》				
20	坂路 具嗣	大都市における大規模小売店舗の立地動向 -千葉市を例に-	長 島	内 田
21	東方田正平	広島湾北部における海洋汚染について	野 口	長谷川
22	合田 清通	神奈川県厚木市における中心市街地と郊外新市街地の土地利用変化	瀬 戸	内 田
24	富岡 宣利	冬の季節風と屋敷林の配置との関係について:関東平野北部の農村地帯を例に	野 口	長谷川
25	池田 明大	埼玉県北東部における新しい農業の役割	長 島	内 田
26	稲野辺裕人	茨城県つくば市東部における土地利用変化の分析	瀬 戸	内 田
2月12日(水) 9:30~12:10 《進行:内田》				
27	矢部 英二	茨城県北部常陸太田市において夏季から秋季のヒートアイランド現象について	野 口	長谷川
30	塩田 隆一	公園住宅における建替事業の現状と課題 -東京都葛飾区を事例として-	長 島	瀬 戸
31	天井澤曉裕	根室半島豊里におけるアースハンモックの形成環境	長谷川	野 口
33	本田 慎吾	東京西郊における鉄道駅空間とその類型化 -西武池袋線沿線を例として-	瀬 戸	内 田
35	布施 太郎	ダム建設における山村の変貌 -神奈川県愛甲郡清川村を事例に-	瀬 戸	長 島
37	中山伊知郎	長野県の冬期における南風の特徴について	野 口	長谷川
40	中島 亮	衛星データを用いた石垣島森川流域における赤土流出域の検出 -植生・土地被覆・表層地質などを考慮に入れた土壌環境評価-	長谷川	野 口
42	小野 敦	諏訪湖の結氷記録からみた冬の気候変動	野 口	長谷川
13:00~15:00 《進行:長島》				
45	合間 慎	東京都台東区におけるおこし製造業について -味の変化と伝播を中心に-	内 田	長 島
47	麻生 直人	九十九里沿岸地域における観光開発 -千葉県白子町を例として-	瀬 戸	内 田
48	山縣安紀子	茨城県日立市北部における岩石海岸の地形変化	長谷川	野 口
50	中村 慎	伊豆半島における観光地の地域的展開	瀬 戸	内 田
51	奥谷 剛治	新潟県三条市の地場産業の衰退に伴う地域産業の形成	瀬 戸	長谷川
52	堀口 智一	長野県茅野市における寒天生産から見た気象との関係について	野 口	長谷川
15:10~16:50 《進行:瀬戸》				
53	籠宮 淳郎	区域別にみる下水処理施設の実態とそれに伴う河川水質の変動、埼玉県飯能市の事例	野 口	長谷川
56	鈴木 麻子	メディアにおける海外特集記事の変遷について -女性誌に描かれた海外像-	内 田	長 島
57	深代 雅明	群馬県片品川中流域における河岸段丘形成 -段丘形成過程と古湖水面変化の関係-	長谷川	野 口
58	小野 守	農業振興における組織機能の役割 -山形県西村山郡大江町の場合-	瀬 戸	長 島
59	小堀 貴亮	伝統的町並み保全の現代的意味と方法に関する一考察-川越・旧城下町のケーススタディー	長 島	内 田
2月13日(木) 9:30~12:30 《進行:内田》				
61	井元 成治	兵庫県南部地震に伴うバッドランドの地形変化 -芦屋ロックガーデンでの例-	長谷川	野 口
62	萩原 勇	高崎市の幹線道路、環状線の整備による都市の変容と効果 -ロードサイドショップと市街地駐車場からの考察-	長 島	瀬 戸
64	関口 貴則	小名浜における海霧の発生要因と海水について	野 口	長谷川
65	福山 達也	横浜市における緑の保全対策の展開と新たな動向	長 島	野 口

66 前田 暢 鳥取県西部地域における希少生物保護とリゾート開発について
67 伊藤 宏峰 大規模小売店舗の動向からみた伊那市の商業構造
79 浅沼 英治 過疎地域の現状－宮城県鶯沢町の事例－
80 加藤 慎一 神奈川県厚木市鳶尾団地の気温分布について
81 斉藤 寛之 千葉県の通勤・通学圏とその構造

野 口 長谷川
長 島 内 田
長 島 内 田
野 口 長谷川
長 島 瀬 戸

日 時 : 平成8年2月10日(月)、12日(水)、13日(木) いずれも9:30～

場 所 : 世田谷校舎 10号館2階 階段教室

注意事項(よく読むこと)

※発表時間は、1人18分(予鈴8分、本鈴10分、質疑応答8分)である。発表者は発表用原稿を必ず用意し、あらかじめ発表の練習をしておくこと。発表の内容はもちろん、発表の手際や表の態度なども審査の対象となる。また、発表では、スライドやOHPなども使用できる。

※発表に際しては、かならず以下の要領でレジュメを用意しておくこと。

1. レジュメは、論文題目、氏名、論文の要旨(800字程度で目的・方法・結果を書く)、説明に使用する図表によって構成する。
2. レジュメの枚数は、B4サイズで2枚、横書き(図表を含む)とし、各自30部ずつ用意する(自費でコピー)。
3. できるかぎりワープロを使用すること。

※3年生は来年のためにも、全員必ず1日以上出席すること。1、2年生もできるかぎり出席すること。必ず今後の参考になる。

【国土館地理学会費の納入について】

本年度の国土館地理学会費を至急お支払いください。以下に掲げる会費未納者は、次の要領で2月末までに、全員必ず会費を納入するようにして下さい。名前の右側にある数字は、これまでの未払い年度です。併せてお願いします。

1. 必ず2月末日までに、学会費を郵便局へ振り込んで下さい(講座番号00150-7-161762)。
2. 今年度中に卒業する予定の者は、2月10～13日の口頭試験のときに徴収しますので、必ず当日は学会費(現金)を持ってくるようにして下さい。

なお、来年度から学会費が年間3000円に値上がりすることが、5月の総会で決定しましたので、本年度中に一括払いすることを勧めます(来年度以降の支払いの場合、[3000円×滞納年数]の学会費を払わねばならなくなりますので、気をつけてください)。

一括払い

(注・疑問の点は野口まで連絡してください)